

2日間みっちり! でも「すごく良かったです」

≡青年部・新組合員教育 成功裡に終了≡



この2日間みっちり、でも「すごく良かったです」

日刊 勤労千葉

82・5・20

No. 1048

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(電話)二九三五・六(本館) 四五二七・二〇七

5月15、16日、勤労千葉青年部は、新組合員教育を館山・南房荘で行いました。今年四月、予科生として入社し、勤労千葉に加入した21名の明日の勤労千葉をになう若い仲間のうち、やむを得ず参加できなかったメンバーを除き13名全員が最後まで参加しがんばりました。

青年部 通信員・峯

盛りだくさんの内容、熱心に挑戦

講演と映画・討論を中心に

参加者は2日間行なつて四つの課題、即ち、①資本主義とは何か。労働者・労働組合とは何か。②とりまく情勢と労働者の課題。反戦闘争とは。③国鉄をめぐる情勢。④勤労千葉の歴史とそのめざすもの、についてわかり易い講演を主体とし、その間に、3本の映画①「ロシヤナガサキの原爆の惨禍を告発し核兵器の廃絶を訴える60日記録」②「にんげんをかえせ」③「三里塚農民の不屈の闘いをかいた」④「抵抗の大地」⑤「あゝあゝ反動をうち破る」の5本を上映し、その間に「勤労千葉の歴史」の記録映画「8000ジェット」の記録を全員で鑑賞し、感想を出し合つての自由討論を中心に行いました。

肉としていく真欲的な姿勢がほとぼるるよう感じられました。

特に全員が注目し熱心な質問・討論が集中したものととして「勤労千葉はなぜ三里塚闘争を闘うのか」「なぜ労働組合が反戦政治闘争を闘うのか」が出されました。そして、労働者も農民も同じ支配者階級の搾取や攻撃にさらされ苦しめられており、共同の敵に向つて共同して闘うことの必要なこと、三里塚空港とジェット燃料をめぐる事実経過や、しかも現在、戦争への道をつつ走る支配者の最も中心的攻撃の軸が、不屈に闘い続ける人民の「反戦抵抗の塔」三里塚と国鉄の闘いをどうぶどうとうという点にある事、又、この事が既成の労働運動指導部には無視抹殺されており、私たちの手で再生させていかねければならぬのだという事などが、討論を通じて明らかにされていきました。



ハードなスケジュール……。でも、わかり易い講演は皆から好評だった。(佐前 祐)

「勤労千葉のやううとしていゝ事がよくわかってきた」好評だった参加者の感想

5/23反核集会、5/24三里塚集会、5/25労働者集会に決起する事を確認し合ひ、おぼえたこの組合歌を団結がハロで終った。